

～バルブの総合メーカー、キッツの強みと成長戦略～

キッツについて

- **社名の由来**
  - ・1951年、創業者北澤利男が株式会社北澤製作所を設立しました。1962年に株式会社北澤バルブ、1975年に株式会社北沢バルブに社名を変更し、1992年に現社名の株式会社キッツとなりました。
- **キッツの事業展開**
  - ・主力は売上高の8割を占める「バルブ事業」です。上下水道・給湯・ガス・空調などのライフラインから、コンビナート、石油精製プラントや半導体などの産業分野で使用されるものまで、バルブの総合メーカーとして幅広い分野に向けた多彩なバルブを製造・販売しています。
- **キッツの強み**
  - ・自社内に鑄造設備を有し、素材選別から鑄造・加工・組立・検査までの一貫生産体制を確立しています。
  - ・幅広い分野に製品を提供する、バルブの総合メーカーであり、高い国内市場占有率を誇ります。

第3期 中期経営計画 (2016～2018年度)

- **重点市場分野への集中**
  - ・「建築設備」、「石油化学・一般化学」、「クリーンエネルギー」を重点市場分野と位置づけ、これらの分野へ、新製品を投入し、設備及び研究開発投資を集中していきます。
- **2020年度に過去最高益を目指す**
  - ・2020年度に連結営業利益125億円の達成を目指し、2007年度の過去最高益116億円を更新する計画です。
- **ROE8%以上**
  - ・グローバル調達・内製化・生産性向上等により、更なるコスト低減を図ります。
  - ・利益を生む設備投資を積極的に実施します。
  - ・このように、利益とキャッシュフロー重視の方針を徹底することで、ROEにおいては8%以上を目指します。

成長の軌跡

- **世界有数のバルブメーカー**
  - ・国内市場の大きな成長が見込まれない中、海外市場での拡大を目指しています。海外売上高においては、2001年度から2020年度までの20年間に、約5倍に伸長を見込んでいます。
  - ・海外に生産子会社11社、販売子会社8社及び駐在員事務所2カ所を展開しています。グローバルコストの実現に向け、最適地生産体制の構築を推進するなど、世界有数のバルブメーカーとしての地位を築いています。
- **2018年度計画を1年前倒しへ**
  - ・2016年度は、売上高・利益の数値目標をそれぞれ上回る業績となりました。営業利益については、第3期中期経営計画の2017年度の計画値に迫る実績となったことから、2017年度の営業利益については、2018年度計画である100億円を1年前倒しで達成したいと考えています。

株主還元への取り組み

- **配当方針**
  - ・現金配当による目標連結配当性向25%に加え、総還元性向の目標については、従来の3分の1前後から、自己株式の取得に更に積極的に取り組み、より一層の株主還元の充実に努めます。
- **配当と自社株買い**
  - ・2017年3月期は、1株当たり13円の配当を実施しましたが、2018年3月期は16円を予定しています。
  - ・2016年5月30日～2017年4月13日までに6.8百万株、46.9億円の自社株買いを実施しました。
- **株主優待**
  - ・1,000株以上を保有の株主様を対象に、オリジナルクオカード、当グループ会社の各種優待券の他、北澤美術館のカレンダー（ガラス工芸品）を進呈しています。